

# 高度対話エージェント技術の研究開発・実証

世界的に認められた「おもてなし」に代表される日本の対人関係観を反映した「よりそい」型対話を実現可能とする高度対話エージェント技術の研究開発・実証を推進し、開発コミュニティの構築等を促しつつ、自然言語処理技術の社会実装を促進するとともに、我が国ならではの社会課題の解決や社会貢献に資する。

## 1 施策の概要

海外の大手 ICT 企業が大規模な対話プラットフォームを構築してデータの蓄積を行い、そのデータによって高度な人工知能を生み出そうとしている熾烈な国際競争の中において、我が国が海外の大企業に対抗するためには、一刻も早く、自然言語処理技術の社会実装を加速化させ、貴重な日本語データを我が国の手元で活かすような仕組みを構築する必要がある。そのため、海外の大手 ICT 企業が提供している「命令実行」型対話技術の高度化に加え、医療、介護、観光等の各分野における深い知識をベースとして、世界的に認められた「おもてなし」に代表される日本の対人関係観を反映した「よりそい」型対話を実現可能とする高度対話エージェント技術の確立のため、以下の技術の研究開発・実証を推進する。

### (1) 高度対話エージェント共通基盤化技術

ユーザに寄り添う対話を実現する際に基礎的かつ共通で必要となる意図解釈技術、感情推定技術等を搭載した高度対話エージェント共通基盤化技術の開発を推進し、比較的少ない投資での民間事業者の参入を可能とする。

### (2) 多目的高度対話エージェントコンテンツ生成支援技術

高度対話エージェント支援技術を活用し、各分野における専門家が、分野特化型対話コンテンツを容易に開発可能とするための利活用技術の開発・実証を推進し、開発コミュニティの構築等を促進する。

## 2 イメージ図

